

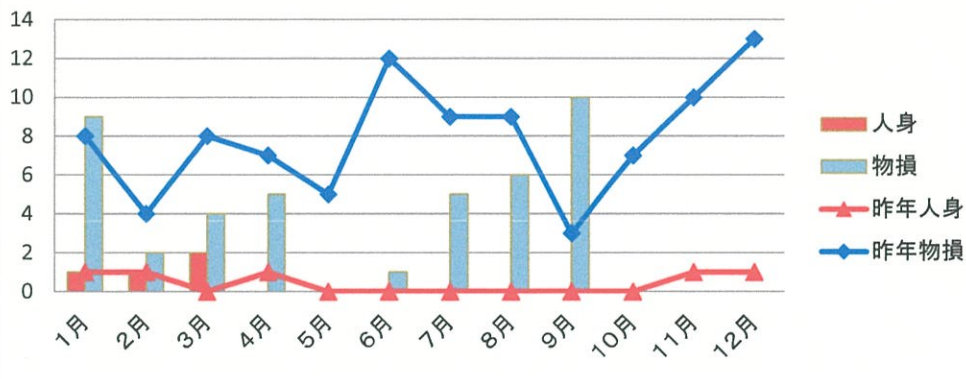
和大学生が当事者となる交通事故件数

9月単月		本年累計		昨年同期		増減率	
人身	物損	人身	物損	人身	物件	人身	物件
0	10	4	42	3	65	33.3%	-35.4%

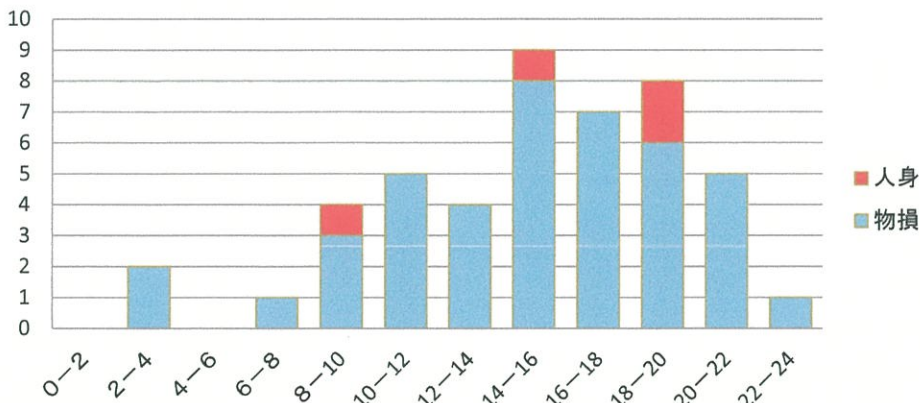
和大学生が当事者となる交通事故の主な概要

事故態様(9月) 赤字が和大学生			
原付×車	対向車線にはみ出した時に、交差点を右折してきた車と接触	車×車	駐車のため後退した時に後方で駐車中の車に接触
車×車×車	駐車場から県道に進入し、左方からの走行車両と接触後、滑走し停止中の車に接触	車×原付	前車を追い越し中、右折のために右寄せした前車と接触
車×車	ブレーキペダルから足が離れ前方の車に追突	車×車	駐車区画から後退した時に右方で停止していた車と接触
車×物	後退した時に、石に接触		
自転車単独	左カーブを走行中、バランスを崩し転倒		
原付×車	前方で駐車中の車に接触		
原付単独	道路のくぼみにはまり転倒		

令和2年中の和大学生が関係する交通事故



時間帯別事故発生状況



<和歌山北警察署より>

9月中は、物損事故が10件で、先月に比べ+4件となりました。
 後退時や路外施設から道路に進入する際の事故が発生していますが、後方確認や左右の安全確認を確実にすることで防げる事故です。
 原付等の二輪車は、渋滞や信号待ちの時に、つい車の左右をすり抜けて走行しがちですが、車には、特に助手席の少し後ろの辺り等、車の運転手から見にくくなる「死角」という部分があり、原付などが車の横をすり抜ける際、その死角に入ってしまう、車の運転手が気付かず左折してしまい事故となるケースが多くあります。
 原付などを運転する際は、無理なすり抜け運転はしないようにするとともに、周りの車の動きをよく見て、車との間隔を十分空けて走行するようにしましょう。